

— 伸びよう 伸ばそう 青少年 —

# 青少年ふくい

令和5年10月発行 vol.163



令和5年度「少年の主張コンクール」福井県大会 発表者と審査員の方々

【8月23日(水)・きらめきみなと館(敦賀市)】



## CONTENTS



- ◆会員総会の開催…………… 2  
会長表彰の受賞者の紹介
- ◆青少年育成研究大会…………… 3
- ◆少年の主張コンクール福井県大会…………… 4・5・6
- ◆青少年の非行・被害防止全国強調月間…………… 7  
大人が変われば、子どもも変わる運動
- ◆お知らせ・お願い…………… 8  
青少年健全育成福井県民大会について ほか



# 第11回 県民会議会員総会

約150名が参加・福井県生活学習館にて



来賓の田村光幸  
県防災安全部副部長



田村洋子県民会議会長

6月3日(土)、県防災安全部 田村光幸副部長を来賓にお迎えし、第11回 会員総会を開催しました。  
はじめに式典・表彰式(青少年育成福井県民会議会長表彰)を行い、会員総会へ。  
会員総会では、理事会・評議員会で承認された令和4年度事業報告・決算、新年度重点目標や重点実施項目、事業計画・予算についての報告を行いました。県民会議の取組みをご理解いただき、今年度も引き続きご支援をくださるようよろしくお願い致します。



## 活動方針

福井の未来を担う青少年が、大きな夢を持ち、心身ともにたくましく成長することは、県民すべての願いであり、そのために、青少年をよく理解し、良好な環境を整えることは、私たち大人に課せられた責務です。  
今後さらに、一人ひとりの個性が輝く、青少年の育成を目指した諸活動を推進していきます。

## 重点目標

大きな夢を持ち、個性が輝く青少年の育成

## 重点実施項目

○「大人が変われば、子どもも変わる運動」の推進  
○青少年の安全安心環境づくりの推進  
○市町民会議等と連携した青少年育成活動の推進

令和5年、県民会議は公益財団法人と なって10周年を迎えました。

# 令和5年度 福井県青少年育成研究大会

## 依存と夢と現実と

「これから『生き生き』に『どっしり』手を差し伸べるか」

今回の研究大会は、コロナ禍で中止していたグループワークを再開。仁愛大学の安彦智史准教授、日本情報モラル推進機構の竹村順吾理事長のご協力をいただき、青少年と大人が提供されたテーマを基に、意見や疑問を出し合いました。

### 〈グループワークの進め方〉

12班で行ったグループワークは、各班概ね青少年2人・大人4人で構成し、その中の大学生にはファシリテーターとして、進行役を務めてもらいました。  
今回、テーマは4つ。各テーマのはじめには、コーディネーターが導入講演と青少年へのインタビューを行い、それらを聴くことで、グループワークに移行しやすい工夫がされました。  
また、テーマごとにグループで話題となった意見を他の参加者に発表する場も設けられました。

### 〈グループワークのテーマ〉

- ①あなたも依存、わたしも依存
- ②ネット依存になってしまった人、何ができるか?
- ③なぜ小学生は YouTuber になりたいのか?
- ④親から引き継いだもの、引き継ぎたくないもの



### 〈グループワークの様子〉

中高生と大人は初対面ながら、ファシリテーター役の大学生が、会話をつないだり、掘り下げたりすることで、緊張もほぐれ、和気あいあいとした雰囲気グループワークがすすめられます。  
「SNSや学習、買い物などネットですることが増え、利用時間の長さでネット依存の傾向を判断することはできない」など認識を共有したり、将来の夢が「YouTuber」と言われた時の対応をどうするかなど、それぞれが意見を述べたり、ふせんに書き込んだりします。中高生の話には、身を乗り出して聴く大人の姿もあり、若者の考えを認め、理解しようとする強い思いも感じられました。

### 〈参加者の感想から〉

・大人の体験を踏まえた意見が興味深かった。  
・青少年の意見も、大人の意見も納得できる。話し合っって妥協点を探ることも必要だと思った。  
・学びのある時間だった。 など  
・若者の話を聴き、たくさんの方々があった。  
・様々な世代が一つのテーマについて話し合えた。  
・楽しかった。もっと時間が欲しかった。  
・地域活動でもこうした機会を設けたい。  
・今後、子ども達の言葉を多く聴き、その思いを取り入れた活動をしたい。 など



〔公財〕青少年育成福井県民会議  
会長表彰受賞者の皆様  
〔団体・グループの部〕  
成器南小学校 読み聞かせ(勝山市民会議)  
長山町ボランティアの会(勝山市民会議)  
福井県レクリエーション協会 あそびの城実行委員会(県レクリエーション協会)  
大野警察署少年警察協助力員会(県少年警察協助力員会連合会)

おめでとうございます。  
益々のご活躍をご期待いたします。



〈敬称略〉( )は推薦団体

- 〔育成指導者の部〕
- 平 忠一 (福井市民会議)
  - 村 俊夫 (福井市民会議)
  - 山本 弥栄子 (福井市民会議)
  - 山本 修司 (敦賀市民会議)
  - 赤坂 敬子 (敦賀市民会議)
  - 富田 誠治 (大野市民会議)
  - 齋藤 ちむら (鯖江市民会議)
  - 川西 千鶴 (越前市民会議)
  - 後藤 丈子 (おおい町民会議)
  - 北村 久美子 (県子ども会育成連合会)
  - 森田 崇 (ボーイスカウト福井連盟)
  - 久保 耕二 (ボーイスカウト福井連盟)
  - 村上 俊男 (ガールスカウト福井連盟)
  - 伊与 圭子 (県スポーツ少年団)
  - 今村 憲英 (県スポーツ少年団)
  - 木嶋 克弘 (日本海洋少年団福井連盟)
  - 清水 慧吾 (県少年愛護センター連絡協議会)
  - 中田 幸男 (県少年愛護センター連絡協議会)
  - 松山 正則 (県少年警察協助力員会連合会)
  - 竹内 美嘉代 (県少年警察協助力員会連合会)
  - 竹中 嘉浩 (県少年警察協助力員会連合会)

### ◆コーディネーター

仁愛大学人間学部コミュニケーション学科  
准教授 安彦智史氏  
(二社)日本情報モラル推進機構  
理事長 竹村順吾氏

### ◆グループワーク参加者

・中学生・高校生  
・仁愛大学、福井大学の  
サイバー防犯ボランティアのみなさん  
(ファシリテーター)

◆その他 見学者席を会場後方に準備



若者へのインタビュー



意見発表



世代を越えたグループワーク。一人ひとりの意見に耳を傾けます。



大人も若者も、自身の意見や疑問をふせんに書き込み、テーブルに広げた模造紙にどんどん貼っていきます。



会場後方では、グループワークや、講演・発表の様子を見学する席を用意しました。

銀賞 すてきだね 素直に言える ありがとう  
いつだって 家族は君の 応援団

福井市光陽中学校 大塚 結衣  
大塚 輝之

銀賞 想像を いつかこの手で 現実に

小浜市立小浜中学校 岩本 彪雅

# 第45回大会 令和5年度 少年の主張コンクール福井県大会

8月23日(水)、きらめきみなと館(敦賀市)で、「少年の主張コンクール福井県大会」を開催。原稿審査で選ばれた8人が、社会や大人、同世代の若者に向け、自分の主張を力強く発表しました。発表後、ただちに審査員が別室にて協議。知事賞に三国中学校(坂井市)の向野一愛さんを選んだほか、各賞を決定し、表彰を行いました。

参加者6,010人  
(29校)

## 県大会各賞受賞者の皆さん

### 知事賞

私の後悔、そして願い 坂井市立三国中学校 3年 向野 一愛

### (公財)青少年育成福井県民会議会長賞

学校の閉校に向けて 福井市殿下中学校 3年 寺澤 七美

### 国際ソロプチミスト福井会長賞

人を・個性を認める 坂井市立三国中学校 3年 八十嶋聖来

### 福井ライオンズクラブ賞

嫌い 敦賀市立栗野中学校 2年 杉本 絆

### 福井新聞社賞

楽しみを見つけた大切さ 鯖江市中央中学校 1年 高橋 杏

### NHK福井放送局賞

本当の友達に国境はない 福井県立高志中学校 2年 高 添翼

### FBC賞

「あいさつ」は魔法の言葉 若狭町立三方中学校 2年 奥村 咲希

### 福井テレビ賞

命の大切さ 鯖江市中央中学校 1年 齋藤 楓我

原稿審査会で奨励賞に選ばれた49人には、学校をとおし、賞状と副賞をお贈りしました。

本事業の趣旨にご賛同いただき、ご参加・ご協力くださった各中学校の先生方に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

令和5年8月23日(水) きらめきみなと館(敦賀市)



知事賞の向野さん



県民会議会長賞の寺澤さん



ソロプチミスト福井会長賞の八十嶋さん



福井ライオンズクラブ賞の杉本さん



福井新聞社賞の高橋さん



NHK福井放送局賞の高さん



FBC賞の奥村さん



福井テレビ賞の齋藤さん



熱心に主張を聴く敦賀市立角鹿中学校の皆さん

約5分の発表時間に込めた熱い想いを、同世代の角鹿中学校の生徒や、先生方、保護者・青少年育成関係者が聴き入りました。



## 令和5年度 少年の主張コンクール福井県大会

### 知事賞

#### 「私の後悔、そして願い」

坂井市立三国中学校 3年

向野 一愛



みなさんは、なくし物をしたとき、どうしてほしいですか。放っておいてほしいですか。それとも一緒に探してほしいですか。私は間違いない後者です。そんなことを考えなくても即答できることなのに、あの日の私は、その答えにふたをし、知らない顔をしたのです。今年の冬の終わり、私は友達八人とレジャー施設へ遊びに行きました。そこはお金を払ったレシートを見れば、出入り自由な場所でした。午前中は息が切れるほど走ったり、大声で笑い合ったり、とても楽しい時を過ごしました。お昼になり、ご飯を食べるため外へ出ようと、レシートを見せ次々とゲートを開けました。すると一人の友達が、「ごめん、レシートなくしてました。先行ってて、私トイレやら色々探してみよう。」

と聞くと、ラインがきました。「ごめん。探したけどなくて、私お腹すいてないから、ここで待ってるね。」私たちが食べ終わり、戻ってまた夕方まで遊び解散しました。帰りの車の中、黙っている私に、母は言いました。「どした。楽しくなかった。何かあったの。」「何でもないよ。楽しかったよ。」私は何度も言うおとうと笑顔だけは作っているのに声にならず、気付くと私の手の甲には、ボタボタと大粒の水滴が流れ落ちていました。

「なぜあの時、一緒に探そうと一歩踏み出せなかったんだろう。みんながわいわい楽しんでいる場所で、彼女は一人ぼっちで、どんなに不安で悲しくて、淋しかったんだろう。」私の心は、彼女に背を向けたあの瞬間から、ずっとずっとチクチク

と痛みを発していたのに、私はその痛みをふたをして、気付かないふりをしたので。 「自分がしてもらってうれいことを、お友達にもしてあげてね。」 母は、私が小さい頃から今も、そしてあの日も、呪文のように毎朝そう言って、私を送り出してくれました。今まで私は、その言葉をうるさいなあぐらいにしか聞いていませんでした。でもあの日、全てを私から聞いた母は、私の手を握り、一緒に肩を震わせ泣いてくれました。その時なぜだか、ズキズキ痛くて仕方なかった私の心の中が、ほんの少しですが、ふわっと温かくなった気がしました。母がずっと言っていたのは、こういうことだったのかもしれないと、感じる事が出来ました。 「自分がしてもらいたいと思うことをするね。」 今までは母から私への一方通行だった言葉が、あの日以来、私と母の合言葉になりました。 今、私には大好きな曲がありま

銀賞 いつだって 地域の人と 協力を

福井市灯明寺中学校 森 与恵

銀賞 家族みんなが 安心してすごせる家に帰れる「幸せだなあ」 福井市灯明寺中学校 野村 優羽 家族みんなの 寝顔を見て一日が終わる「幸せだなあ」 野村 陽子

### 令和5年度 少年の主張コンクール福井県大会

### (公財)青少年育成福井県民会議会長賞

### 「学校の閉校に向けて」

福井市殿下中学校 3年

寺澤 七美



私の通っている殿下小中学校は自然豊かな山あい位置してま... 様々な植物、動物に囲まれ、小学生四人、中学生四人で楽しく過ごしています。行事では、地域の方と協力し、少人数ながら色々な活動を行っています。

そんな私の自慢の学校ですが私の卒業する今年度で中学校が閉校してしまいます。生徒数が減少しているため、仕方がないことだと思いますが、自分の母校がなくなってしまうのは、とても悲しいことです。

少子化、過疎化が進んでいる今、学校の閉校が絶えませんが、文部科学省の調査によると、二〇一八年〜二〇二〇年までに閉校した学校の数は九九九校。たった二年間でこれだけの数の学校がなくなっていることに衝撃を受けました。

なにか減らさなければいけないのかということ。確かに、人数の少ない学校をなくすことは妥当だと思えます。しかし、小規模校には沢山のメリットがあります。一つ目は、人間関係に悩むことがない点です。私は、小学校に入学前人と接することが苦手で、周りにとけこめるか不安でしたが、人数が少ないため、自然にみんなと仲良くなることができました。また、先生との距離も近いので、話や相談もしやすいです。二つ目は、自主性を養うことができる点です。小規模校は人数が少ないため、行事などで沢山の役割がまわってきます。実際、私も生徒会長を務めています。そのような役割をこなしていくことで、人の前に立つことが苦手でしたが、リーダーとして先頭に立つことができるようになりました。この経験は、将来、社会に出て役立ちたいと思います。他にも、学校があると、地域を

活性化できるなどのメリットもあります。このメリットだけを見ると、小規模校をなくさないべき、と言いたいです。残念ながら、学校が閉校することに決まってしまうまい。そんな中で、自分たちの母校を守るため、私達殿下中学生は「DENGAPプロジェクト」という活動で、閉校後の学校の再活用について考えています。

去年、私は修学旅行で、県内の休校した学校を再活用した施設を三件訪れました。どの施設も学校が、カフェや宿泊型体験施設、子供の遊び場などに生まれ変わっていました。学校のリノベーションは地域の方を中心となって行っており、再活用について沢山の話を聞き取りました。やはり、施設の維持費、人件費、PR、そしてリノベーションの費用などの問題が浮き彫りになっていました。

私は「学校は、休校」ということになっていきますが、もし再開したらどうしますか」という質問をしました。地域の方は「休校も廃校も同じだから、再開することはない」と答えてくださいました。私はその時の地域の方の寂しそうな目が忘れられません。

私はいつも「廃校」という表現を使わないようにしています。なぜなら「廃」には「すたれる、古

くなって役に立たなくなる」などの意味があるからです。学校自体はすたれてしまっても、自分達の学校での思い出は、すたれることはなく、変わらず心の中に残り続けます。

これからも、学校の閉校は増えていくかもしれません。しかし、学校には、再活用するなど、可能性は充分あります。「廃校」という言葉だけでなく、残らないでほしいです。

私達の殿下中学校は、閉校に向けて、今も「DENGAPプロジェクト」を進めています。閉校までに、学校での思い出を地域の方とつくり、その思い出を残していきたいと思えます。その過程で、学校はなくなってしまうことも、思い出は形としても、自分の心の中にも残ると考えます。

学校の閉校は避けようがないことですが、それから考えることが大切です。この先、ずっと殿下校の思い出が残ることを願って、私達は今も、活動しています。



### 薬物は犯罪 ～青少年を薬物から守る～

スマホで大麻などの薬物が簡単に入手できてしま... うなど、薬物と青少年の距離が以前より近くなっています。

悪い誘いを寄せ付けず、好奇心に打ち勝ち、自分と周りの人を大切にできる青少年であるよう、「薬物は犯罪！」と大人は伝え続けなくてはなりません。

高校生が出演する「薬物防止」の広報映像(15秒)を夏休み期間中の7月20日〜8月18日、JR福井駅前... のハピリンビジョンで上映しました。(計10800回) 当映像は11月の1カ月間、YouTubeのイン... ストリーム広告としても配信されます。(撮影協力：県立藤島高校 演劇部の皆さん)



### 青少年の非行防止のための一斉補導活動

(福井県青少年総合対策本部)

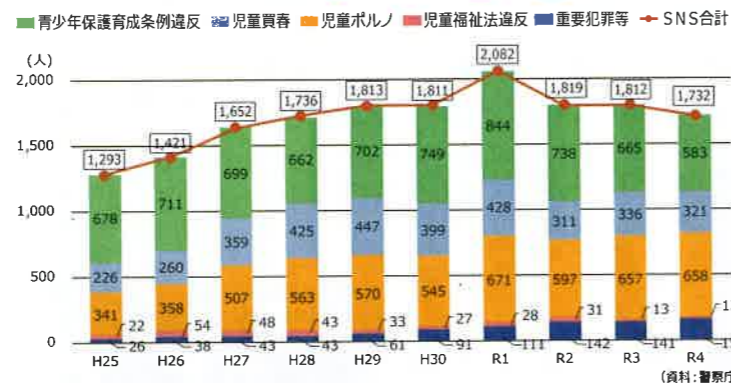
青少年の夏休み中の非行や犯罪被害を防ぐ... 部などが7月20日(木)の夕方、県内各地で一斉補導活動を行いました。県民会議からも役員などが参加し、JR福井駅周辺を中心に巡回。中高生にリーフレットを配りながら、犯罪被害などへの注意を呼びかけました。



### 7月1日～31日 青少年の非行・被害防止全国強調月間

### インターネット利用における 犯罪被害等の防止

### SNS等に起因する事犯の被害児童数の推移



令和4年におけるSNSに起因する事犯の被害児童数は前年より減少したものの、依然高い水準で推移しています。県内においても令和4年中、児童7人が被害に遭っています。 ◆青少年がネットと上手につきあえるように、大人による適切なサポートが必要。 ◆青少年が使用するスマホにはフィルタリングの設定をしましょう。

### 地域の子どもは地域で守り育てよう

### 大人が変われば、子どもも変わる ～地域のおじさん、おばさん運動～

**守ります**  
あの子もこの子も地域の子ども

**安全を**  
見守る人に  
ありがとうございます

「子ども安心県民作戦」  
見守り活動にご協力をお願いします！

**よその子ども**  
ほめてしかつて  
近所のおばさん

地域の環境を再点検し、  
子ども達を危険から守ろう

**わがこども**  
しかつてください  
ほぐすために

**あいさつ**  
大きな笑顔の花がさく

地域の子ども達と名前を  
呼び合える関係をめざそう

銀賞 まっていて 私はすてきな大人になるよ  
きつとなるよ あなたが思いえがく大人に

勝山市立勝山北部中学校 大谷 和花  
大谷 輝美

銀賞 夜ご飯 母の料理が 世界一  
手抜きでも 愛情だけは 世界一

勝山市立勝山北部中学校 田中 優丞  
田中 美雪

令和5年度

11月は「子供・若者育成支援推進強調月間」です。

# 青少年健全育成 福井県民大会

## 大きな夢を持ち、個性が輝く青少年の育成

～ 個性や違いを認め合い、支え合う青少年を育てよう～

と き

11月25日(土)  
13:30~16:00

と ころ

### 越前市いまだて芸術館

(越前市粟田部町 11-1-1)

開 会

式 典 ・ 表彰式 (知事表彰・知事感謝状)

少年の主張の発表

活動発表

明神ばやし<越前町>・たちまち子ども文楽<鯖江市>

羽根曾踊り<南越前町>・越前万歳<越前市>

大会宣言

閉 会



参加無料・事前申込をお願いします。

主催 福井県青少年総合対策本部 (公財) 青少年育成福井県民会議 / 主管 (公財) 青少年育成福井県民会議 丹南ブロック

●寄付 ありがとうございます。  
国際ソロプチミスト福井様



7月20日(木)、国際ソロプチミスト福井の山川えり子会長よりご寄付をいただきましました。ありがとうございます。ソロプチミスト福井様からの継続したご支援に感謝いたします。

●ご理解・ご協力をお願いします。  
寄付型自動販売機

多くの人に青少年健全育成に関心をもっていただくとともに、飲料の購入で青少年育成運動への支援ができる手軽なボランティアとして、「すくすく募金 寄付型自販機」の設置を、県内企業にお願いしています。会社の社会貢献活動の一つとして、寄付型自販機の設置をどうぞご検討ください。  
(詳しくは県民会議事務局に お問合せください)



●伸びよう伸ばそう青少年  
すくすく募金にご協力を



県民一人ひとりの参加・協力によって、青少年健全育成運動を積極的に推進し、青少年育成事業の進展に寄与しようとの願いを込め、昭和58年から募金活動を行っています。皆さまからの募金は、青少年健全育成事業に活用しています。

●県民会議加入のお願い  
青少年育成運動をご支援いただく  
会員を広く募っています。

年会費

個人(100) 3千円

団体(100) 3千円

企業(100) 1万円

―詳しくは県民会議事務局まで―  
※県民会議の会費は寄付と同様、一定の条件のもと、税の優遇措置の対象となります。

●会費の納入のお願い

令和5年度会費をまだ納入いただいていない会員の方は、事務局へお持ちいただくか、お振込みをお願いします。既に納入いただいた皆様、ありがとうございます。

「青少年ふくい 第163号」

令和5年10月発行

編集発行

(公財)青少年育成福井県民会議

〒910-0003

福井市松本3-16-10

(県職員会館ビル2階)

FT AXL (0776) 2010527  
E-mail seisyounen@fukukeminkai.jp

銀賞

鏡見て 今日笑顔 世界一  
その笑顔で 他の誰かを ハッピーに...

坂井市立坂井中学校 安竹 咲乃  
安竹 純代